

## 令和7年度（12月末まで）三田市障害者就業支援センター事業報告

### 【総括】

(1) 本年度（～12月）は就職者15名（うち10時間未満での雇用が1名）、転職を含めた離職者は7名、新規登録は13名となりました。定着支援の実人数は61名、相談実人数は184人となりました。昨年度と比較して、就労に関する支援は1.03倍であり変化はないですが、福祉サービス利用に関する支援件数は1.56倍となっています。「就労にはまだ不安があるため、訓練出来る場所を教えて欲しい」といった問い合わせが多く、一般就労に比べて福祉サービス事業利用のための支援が多かったように思います。

昨年度障害者雇用率は上がったものの現状では三田市近郊の障害者雇用は進んでいない印象があり、職域開発の必要性を感じています。しかし、相談支援内容が幅広くなり、対象者1人あたりの支援時間が長くなっています。そのため、今の体制では求人票ありきの就労支援にとどまっている事が課題です。昨年に引き続きA型事業所の求人希望される方も多数おられますが、今後A型から一般就労へのステップアップ先が必要となった時にマッチング先が選択出来なければ福祉サービス利用が長期化してしまう事も懸念されます。

また、来年度のさらなる雇用率の上昇により障害理解や共生社会について歩み寄りが出来たとしても物価高による経営環境の厳しさや、人員不足で企業内のサポート体制が出来ていない状況であれば支援機関が関与出来る範囲外となってしまう難しさを感じています。

(2) 他機関との連携に関しては、主にハローワーク専門援助部門との細かい連携が来ています。企業交流会や合理的配慮研修等の啓発活動だけではなく、個別ケースに対してそれぞれの役割で相談対応や企業情報の共有を行った事はスムーズに就職活動の支援や退職後の活動支援に繋がりました。

来年度からは手帳や診断が出ている学生への就労支援の強化を目標として、ハローワークと一緒に市内高等学校にも連携を促していける活動を行い、個々に合った就職活動を効率的に行えるサポートを提案していきたいと考えています。

(3) 昨年度から一般企業での合理的配慮の提供が「努力義務」から「義務化」になっていますが、合理的配慮の線引きの難しさが対象者と企業の双方ともにあるように感じます。正しい理解が共生社会に繋がると考え、対象者や企業には研修や面談内容に合わせて啓発をしています。

また、これまで以上にコンプライアンス遵守への意識が高まり、対象者には職場での立ち振る舞いや人との適度な距離感について必要に応じて面談や当事者会で一緒に考える機会を設けました。企業に対してはトラブル防止として対象者が理解しやすい方法でご指導頂けるよう障害理解を促しました。

## 1. 相談支援事業実績

障害者の就業に関する情報提供、障害者等の就業に関する総合的な相談支援、職域開発や職場適応体制の確立に向けた連絡及び調整、関係機関との連携および調整を行いました。

相談支援延べ件数

(単位：件)

	延べ人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	その他
障害者	831	24	0	217	296	190	24	2	78
障害児	3	0	0	0	3	0	0	0	0
計	834	24	0	217	299	190	24	2	78

相談支援を利用している障害者等の実人数

(単位：人)

	実人数	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	重複	その他
障害者	181	5	40	61	36	7	2	6	24
障害児	3	0	0	0	3	0	0	0	0
計	184	5	40	61	39	7	2	6	24

支援方法（家族からの相談・関係機関からの相談連携も含める）

(単位：件)

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	計
件数	279	306	107	1032	1	308	58	962	3,053

支援内容（重複あり）

(単位：件)

	福祉サービスの利用に関する支援	障害や病状に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	307	128	77	97	1	67	71	35	1,327

	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	37	8	734	2,889

## (2) 障害者雇用に関する啓発

職域開発や障害者雇用に関する研修会・セミナーの開催、個別要望に対応した障害者就労に関する講座を実施しました。

令和8年1月には基幹相談支援センター主催の差別解消の研修にハローワークと共催し、合理的配慮について市内の企業に啓発を行いました。他の業務との調整が難しい理由で積極的に参加される企業が少なく、今後企業が積極的に取り組むための打開策を見いだせるには時間を要すると考えられます。

日付	活動場所	内容
6月4日	三田市役所	就労準備支援事業 事業所説明会
6月5日	上野が原特別支援学校	進路出前出張「卒業までに出来ること」
6月25日	三田市役所	企業による就労・居住支援説明会
8月7日	三田市総合福祉保健センター	集「企業請負作業説明会」(市内B型事業所対象)
10月5日	エキマエアキチ	集「ひらくマーケット」出店
10月18日	まちづくり協働センター	不登校支援情報共有の会「ここもあるよ」
10月21日	三田市内事業所	障害者雇用に向けた取り組み支援
11月22日	三田市総合福祉保健センター	集「障害者週間」出店
11月26日	三田市総合福祉保健センター	企業交流会
1月23日	さんだ市民センター	「合理的配慮で変わる職場づくり」研修
1月27日	アステ市民プラザ	阪神北地域障害者就労支援シンポジウム

## (3) 障害者等の自立と社会参加の促進に必要な事業

障害者、企業が障害者雇用に取り組む体制の構築、超短時間雇用に関する体制構築及び実施、障害者等の自己啓発につながる場の運営を行いました。

### ①さんだチャレンジの実施(職場体験実習)

実習期間	企業名	業務内容
12月までの体験実習の実施はなかった。※実習は雇用前提のみの開催		

### ②サステナブルワークさんだの実施(障害者雇用制度によらない働き方の支援)

本年度、この事業に関与してくださった企業は1社でした。希望された2名のうち、1名は雇用となり1名は双方で前向きに検討されています。

日付	業種	活動内容
5月18日	造園業補助	面接同行
5月29日	造園業補助	初出勤の同行
2月18日	造園業補助	雇用説明の同席

### ③当事者会、家族会、障害者等の自己啓発に対する取り組み

定期的に開催しているシャベリバは「立ち寄れる」「話を聞いてもらえる」場所です。参加者は以前より少なくなっていますが、この会が外出する機会となっている方もおられ必要性を感じています。カイケツバは同じような立場で働く参加者同士が集まり「仕事と障害への葛藤」「解決する方法を見つける」座談会であり、横のつながりも見られるようになりました。ゆーかりクラブは神戸市北区の医療機関で開催し「地域の資源」「自分の生き方」について、当事者と家族同士がつながる場所となっています。いずれも参加された方の自己理解や孤立感の軽減に繋がっています。

昨年に引き続きCRAFTを開催しました。[ひょうご発達障害者支援センタークローバー宝塚ランチ]サポートのもと、本年度は講師やファシリテーターとして携わりました。ご家族に寄り添い、本人との関係性が家族全体の良い循環をもたらす過程にアプローチ出来る機会となりました。

開催日	開催内容（参加人数）
月1～2回	精神・発達障害当事者会「シャベリバ」（土日祝は約7～8名,平日は約5名）
年3～4回	知的・発達障害当事者会「カイケツバ」（各回約10名）
不定期	高次脳機能障害当事者・家族会「ゆーかりクラブ」（各回約10名）
12月12.19日 1月9日 2月6.20日	CRAFT ASD特性を背景とする引きこもり状態にある人の家族支援プログラム（全6回）

### ④就労に関する研修の開催、進路相談会の参加

毎年新卒生秋からの就職活動に備えて8月に就労セミナーを開催しています。これまでは自己理解や就職活動を効率的に進める方法をテーマにしてワークショップ形式で行っていましたが、本年度は[さんだ若者サポートセンター]や[しごとサポート北部]、就労移行支援事業所にも登壇していただき各機関の説明や就労訓練事業の説明を行いました。引き続き、来年度も近隣の就労支援機関にもご協力頂き、地域での支援サポート体制を構築していきたいと思っております。

開催日	開催場所	内容
6月5日	上野が原特別支援学校	進路出前出張「卒業までに出来ること」
7月2日	高等特別支援学校	進路相談会
7月7日	上野が原特別支援学校	進路相談会
7月23日	兵庫県職業能力開発校	就職相談会
8月18日	三田市総合福祉保健センター	令和7年度 就労セミナー
8月21日	神戸市総合教育センター	神戸市教育委員会アシスタントサポーター研修 アドバイザーとして参加
11月11日	三田市総合福祉保健センター	三田市こどもネット「卒業後の進路について」
11月20日	兵庫県職業能力開発校	就職相談会
12月18日	三田市役所	共生社会に向けた研修「障害のある方の働く事」
1月15日	上野ヶ原特別支援学校	高等部 現場実習報告会
1月26日	上野ヶ原特別支援学校	福祉事業所説明会および体験会
1月28日	神戸市総合教育センター	神戸市教育委員会アシスタントサポーター研修 アドバイザーとして参加

#### (4) 会議

本年度も定期的に阪神北圏域の就労機関連絡会等に参加し、各地域の雇用に関する課題や情報共有を行いました。

また、ひきこもり事業や地域の居場所の会「ひきこもり支援家族情報交換会」に参加し、当事者やご家族から現状や希望だけでなく、一緒に地域での困りごとや課題について話をしたり、支援される方にも広く当機関を知って頂く機会となりました。

日付	場所	会議名
毎週火曜日	三田市総合福祉保健センター	きいてネット会議
第3水曜日	三田市総合福祉保健センター	三田市相談支援事業所連絡会
年6～10回	三田市総合福祉保健センター	三田市共同製品製作プロジェクト「集（つどい）」（賛同事業所9か所のうち、ミーティング参加は各回約3～4事業所）
5月28日	神戸クリスタルタワー	神戸・三田地域障害者雇用連絡会議 神戸地域障害者雇用・就業支援ネットワーク
5月29日	いたみ杉の子	第1回阪神北圏域連絡会
6月3日	兵庫職業センター	JC支援事業推進協議会
6月18日	三田市総合福祉保健センター	三田市相談支援事業所連絡会
6月26日	兵庫職業能力開発校	障害者就労支援機関連絡会議
7月1日	伊丹市図書館 ことばの蔵	阪神北就業支援ネットワーク会議
7月11日	上野が原特別支援学校	企業・福祉事業所による学校見学会及び意見交換会
8月24日	神戸市北区役所	北部就労推進ネットワーク
9月12日	三田市役所	三田市障害者差別紛争調整委員会
10月28日	三田市総合福祉保健センター	三田市施設団体連絡会
10月7日	三田市総合福祉保健センター	令和7年度第1回ひきこもり支援情報交換会
11月12日	伊丹市図書館 ことばの蔵	阪神地域障害者就労支援センター情報交換会
11月25日	三田市総合福祉保健センター	三田市施設団体連絡会
12月25日	いたみ杉の子	第2回阪神北圏域連絡会
1月13日	三田市役所	多機関協働支援会議第1回実務者会議

(2) 研修

日付	場所	内容
6月30日	神戸市中央文化センター	行政職員研修会「Q-SACCSを使ってみよう」
7月14日	三田市総合福祉保健センター	意思決定支援ガイドライン 地域移行等の意思確認研修
7月16日 9月17日	三田市総合福祉保健センター	相談支援SV
8月29日 9月29日 10月23日	三田市総合福祉保健センター	ファシリテーション研修 「ホワイトボードミーティング」(全3回)
9月24日	宝塚市立西公民館	地域活動支援センターWAKABA 高次脳機能障がい交流会
11月 10.11日 13.14日 20.21日	オンライン TOYO TIREリファイン エルおおさか	職場適応援助者養成研修
11月15日	西宮市フレンテホール	精神障害者と家族双方のケア
11月28日	兵庫県三田庁舎	依存症対策総合支援事業地域の支援者のための 研修会
12月5日	三田谷治療院	クローバーCRAFTプログラム中級
2月21日	神戸市教育会館	令和7年就労支援研修会 「本人の希望を中心に据えた伴走型個別就労支援の実践」
2月12日	オンライン	兵庫県相談支援従事者現任研修
3月3.4.5日	総合リハビリテーションセンター	兵庫県相談支援従事者現任研修